

名城大学薬学部で高校生体験実験講習会を開催！

新型コロナ変異株識別法の基礎となった最新技術を高校生が体験します

名城大学八事キャンパス（名古屋市天白区）で11月12日（土）、高校生を対象とした最新研究体験講習会を開催します。同講習会は高校生の皆さんに、本学の薬学教育の理解を深めてもらうために2000年度から開催し、19回目。新型コロナの影響で3年ぶりの開催になります。

今回は新型コロナウイルス変異株の簡単、迅速な識別法を確立した神野透人教授らのグループが、その識別法の基礎となった技術を紹介し、高校生が体験します。ぜひ、ご取材ください。



過去の講習会の様子

日時	2022年11月12日（土）13：00～17：00
場所	名城大学八事キャンパス7号館2階実習室
テーマ	「食品偽装をあばく技術 —新型コロナウイルス変異株の識別法はここから生まれた— 市販されている複数の鶏肉からDNAを抽出し、塩基配列の順序を比較することで、鶏の銘柄を識別します。さらに、この技術を応用し、いかにして新型コロナウイルスの変異株を識別できるようになったか、解説します。
スケジュール	13：00 挨拶、概要説明 13：10 講義 13：40 実験、データまとめ、解説、 17：00 終了（予定） ※14：00～15：00 あたりに参加者が主に実験に取り組みます
参加者	事前に申し込みされた高校生20名
講師	名城大学薬学部 衛生化学研究室スタッフ 神野透人教授（名城大学薬学部薬学部長）、岡本誉士典准教授、青木 明助教
取材要領	新型コロナウイルス感染症防止のため、マスク着用、検温、手指消毒、腕章着用とさせていただきます。取材していただける場合は、 11月11日（金）15：00までに yyoffice@ccml.meijo-u.ac.jp へメールでお知らせください。メールのタイトルは「高校生実験講習会／社名」とし、本文には、①部署名 ②担当者名 ③電話番号 ④参加人数 ⑤参加方法 ⑥車両乗り入れ有無（タクシーは不要）をご明記ください。